



雪崩・地すべり 研究センターたより

年3回発行・第76号
2017. 3月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事 地すべり災害への技術支援 ・トピックス（寒地技術シンポジウム、雪崩災害防止セミナー、国際シンポジウムなど） ・転出者挨拶 ・ニュートンのリンゴの木

地すべり災害への技術支援

1月16日に、富山県南砺市利賀村上百瀬地内で幅約100m長さ約250mの規模の地すべり性崩壊が発生し、住宅や県道に被害を及ぼしました。当センターでは、富山県の依頼により1月18、19日に石田所長と金澤、石川が、1月20、21日と26、27日に石田所長と丸山が、現地調査を行い、土砂堆積域における応急対策等に関する技術支援を行いました。



トピックス

■寒地技術シンポジウム 寒地技術賞(学術部門)受賞

当センターの松下主任研究員は、11月16～18日にかけて札幌市で開催された第32回寒地技術シンポジウムにおいて、寒地技術賞(学術部門)を受賞しました。この賞は、前年の同シンポジウムで発表された論文の中から選考され、寒地技術の向上に著しく寄与する論文に対して与えられるものです。受賞した論文「湿雪雪崩の発生評価における積雪モデルの活用について」は、これまで取り組んできた斜面における積雪への水の浸透や積雪構造の特性を考慮した積雪モデルを用いて、湿雪雪崩の発生を推定し評価する手法の概要を示し、この手法を一冬期通して試行した結果を報告したものです。



■雪崩災害に対する警戒体制の強化に係る講習会

1月10日に、新潟県魚沼市で開催されました。この講習会は新潟県が主催し、平成24年度から県及び市町の各職員の知識及び技能向上を目的に、雪崩専門家を招いて実施されているものです。講習会では講義と現場講習が行われ、当センターからは石田所長が「融雪期の地すべり等について」と題して講義を行いました。



■雪崩災害防止セミナー

1月16日に、青森市において、平成28年度雪崩災害防止功労者表彰式及び雪崩災害防止セミナーが開催されました。国土交通省では、雪崩災害による被害を軽減す

るため、毎年12月1～7日を「雪崩防災週間」と位置づけ、雪崩災害防止に関する啓発活動を全国的に実施しています。今回の雪崩災害防止



功労者表彰では、当センターの専門研究員であった(故)池田慎二博士が授与されました。また、セミナーには当センターの石田所長と松下が参加し、石田が「雪崩に関する基礎知識」、松下が「土木研究所における雪崩対策に関する取り組み」と題して各々話題提供を行いました。

■地すべり防止施設点検学習会

1月26～27日に、群馬県高崎市で第10回地すべり防止施設点検学習会が国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所の主催により開催されました。



参加者は、関東甲信地区の国、県、市の地すべり担当者です。26日には、当センターの金澤が「地すべり地における地表水・地下水排除施設の維持管理」と題して講義をしました。また、27日には、金澤と石川が管内観察カメラによる集水管の点検について実演をしました。

■ふゆトピア研究発表会

1月27日に、北海道函館市で国土交通省北海道開発局による第29回ふゆトピア研究発表会が開催されました。ふゆトピアは、国、地方公共団体、住民、NPO、企業などが参加し、北国の冬の課題の克服、冬を活かした地域づくりに関する技術や取組について、情報発信や意見交換を行うことを通じて、地域の活性化や魅力あるまちづくりの実現を目指す会です。当センターからは松下が参加し、「雪崩対策施設の損傷と維持管理のための点検の着眼点」と題して発表を行いました。

■雪氷圏の気候変動に関する国際シンポジウム

2月12～17日に、ニュージーランドの首都ウェリントンで開催されました。当センターからは、松下が「In situ observation on instability of snowpack formed by low pressure in synoptic scale」と題して発表しました。この内容は、南岸低気圧による積雪とその後に堆積した積雪の密度と硬度の時間変化を、新潟県妙高市関山の妙高山麓において約3日間にわたって現地観測を実施した結果についてまとめたものです。



■雪崩・地すべり防止技術セミナー

3月3日に、新潟県糸魚川市柵口にある当センターの

雪崩観測地とその周辺で開催されました。このセミナーは雪崩・地すべり研究推進協議会の主催によるものであり、県、市の担当職員を対象にしています。当センターの石田所長と松下が、講師として雪崩対策等について説明を行いました。



■「すべらない地すべり」勉強会

3月16日に、山形県新庄市で国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所の主催により開催されました。この勉強会は、



直轄事業として地すべりに設置された地すべり対策施設の維持管理を目的とし、維持管理の現状と課題等について意見交換を行うものです。参加者は、国、県、村の職員13名でした。当センターからは金澤が参加し、集水管の閉塞防止法などについて話題提供を行いました。

■転出者あいさつ

■主任研究員 松下拓樹

4月から寒地土木研究所(札幌市)に勤務することになりました。雪崩・地すべり研究センターでの3年間、雪崩研究だけではなく、新潟県を中心とする地域に密着した講習会などへの参加や災害時の技術支援など貴重な経験をさせていただき、大変お世話になりました。これらの経験を活かし、今後も雪崩対策技術向上のため努力していきますので、よろしくお祈りします。



■ニュートンのリンゴの木

写真は、3月17日のリンゴの木の様子です。H28-29年の当センターにおける最大積雪深は107cm(1/25)でした。このように小雪であったことや、昨秋に骨格剪定を行ったこともあり、積雪による枝折れなどはありませんでした。今年の春に咲く花が楽しみです。



雪崩・地すべり研究センターに関する記事は、ホームページにも掲載してありますのでご覧ください。

発行: 国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター

住所: 〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8

TEL:0255-72-4131 FAX:0255-72-9629 URL: http://www.pwri.go.jp

掲載内容は、現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により、内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。

